

成果

3の「情報発信」、4の「教育活動の公開」の項目では、肯定的な回答が90%を超えました。開かれた学校創りとして全教職員が力を入れてきたことが、保護者の方に広く理解されることにつながったと考えます。

5の「基礎的・基本的なことから習得」の項目では、86%の肯定的な回答をいただきました。校内研究をはじめ、日々の授業改善がお子さんの学習内容の理解につながっていることを実感していただけていると考えます。

11の「きまりを守る」の項目では、86%の肯定的な回答をいただきました。学校と家庭での指導が、お子さんの言動に表れていることを評価していただいたと考えます。

12の「あいさつ」の項目では、85%の肯定的な回答をいただきました。学校と家庭での指導が、会釈等のお子さんの基本的な所作に表れていることを評価していただいたと考えます。

課題

7の「読書」の項目では、肯定的な回答が50%に留まりました。昨年度は51%でしたので、大きな変化はないのですが、否定的な回答の内訳を見ると、「そう思わない」という回答が昨年度の14%から8%増加し、「どちらかといえば、そう思わない」が8%減少しています。より強い否定的な回答が増加したことを真摯に受け止め、読書を習慣化するための取り組みを、今後も模索していきます。

10の「子供の人権」の項目では、肯定的な回答が61%に留まりました。昨年度は60%でしたので1%の増加と捉えることもできますが、「わからない」という回答が29%あったことを重視しています。昨年度は23%でしたので、6%の増加です。いじめ防止、体罰防止の取り組みを見直すとともに、情報発信の内容についても見直していきます。

17の「鶴川中学校との連携」の項目では、「わからない」という回答が58%に上りました。昨年度は49%でしたので、9%の増加です。肯定的な回答も、昨年度は33%で今年度は28%でしたので、5%の減少です。新型コロナによる制限がなくなったにもかかわらず、この結果になったことを重視しています。鶴川中学校との新たな連携を模索していきます。